

事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 二位孝夫 (課長補佐兼基盤整備係長 坊垣昌明)	内線	4003 (4016)
------	-------------------------	---------------------	----------------------------------	----	----------------

事業種目	農道	事業名	事業区間	総事業費	2.3 億円
		一般農道整備事業	きすみの地区	内用地補償費	- 億円

所在地	事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
兵庫県小野市来住町、下来住町	H19	H19	H21

事業目的	事業内容
農作物の品質向上や運搬経費節減などにより農業の発展を図るため、ほ場整備済み区域内の未舗装道路について舗装を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農道整備（舗装） 12.5km (W3.0～5.0m) ・ 負担率 [国45% 県27.5% 市27.5% 地元0%]

評価視点	評価結果の説明
(1) 必要性	<p>農業者の高齢化及び減少が進んでおり、路面の補修や草刈り等の維持管理労力の節減を図ることが必要である。</p> <p>農作物の荷傷みを防止するとともに、土ほこりによる品質低下を防ぐ必要がある。</p> <p>米・麦・大豆の作業受託、「サンパティオおの」等の直売所へ出荷する農作物の種類・量、「プラットきすみの」での加工食品（そば、巻きずし等）販売などの取り組みを拡充し、法人化を目指している「きすみの営農組合」を支援するために、農道の舗装が必要である。</p> <p>地域内の環境水路及び農地を活用して小学生等の環境学習やコスモス祭りなどの都市農村交流が行われており、これらの活動をさらに活性化していくためにも、農道の舗装が必要である。</p>
(2) 有効性・効率性	<p>費用便益比 B/C=1.16 (便益額B=281百万円、総費用C=243百万円)であり、事業としての効果が十分に期待できる。</p>
(3) 環境適合性	<p>施工にあたっては舗装資材に再生材を利用することにより自然環境への影響を軽減する。</p>
(4) 優先性	<p>高齢化が進み農業の担い手不足が見込まれるなか、集落営農組織を中心とした営農を推進し、早期法人化に向けた取り組みを支援するため、優先して実施する必要がある。</p>